

教職員の個性を生かす道徳教育 —全職員でとりくむ道徳授業の充実をめざして—

1. 設定理由

急速な社会の変化に伴い、子どもたちの生活や意識は大きく変化しつつある。こうした中で、学校教育においては、社会の変化に自ら対応できる豊かな人間性と社会性を育むことが求められている。

千葉県では平成20年12月に道徳教育推進のための基本的な方針を策定し『『いのち』のつながりと輝き～大切なあなた、大切なみんな、大切な自然と地球、そして大切なわたし～』を道徳教育の主題として掲げ、発達の段階に応じた道徳教育を推進している。

本校では、道徳を校内研修に位置づけ、資料の情報交換や授業研究を年に2回行っている。数年前から大規模から中規模校へと移行し、学年内での交換（ローテーション）道徳を展開しやすい環境となった。また、各担任と協力しながら学年全体で授業を行う際も、職員の協力が得やすい状況にある。

そこで、教職員の個性を捉えながら道徳授業を推進することで、授業者である教師自身がより生き生きと授業を展開できると考えた。授業者の意欲は、自ずと生徒の活発な発言を促し価値の追求が深まるにつながるに違いない。教師も生徒も、ともに豊かな心を育てることで、より楽しく充実した学校生活を送ることができると考え、本主題を設定した。

2. 研究仮説

教職員の特性を生かした道徳授業の展開を継続的に実践すれば、生徒一人ひとりの心が豊かに育ち、温かい心が通い合う生き生きとした学校生活が送れるであろう。

3. 研究内容

- 道徳授業を推進する校内道徳部会の役目
- 行事等を生かす授業展開の工夫

4. 結論

- 教職員間の連携を密にし、教師の個性を生かした授業や行事との関連を意識した道徳授業の展開をめざしたことで、生徒たちがより真剣に考え学んだことを生活に生かそうとする気持ちが高まった。また、全職員の道徳に関する意識向上と若手教師の育成に繋がった。
- 教科化へ向かう転機にあたり、積み上げた道徳実践を生かしながら「考え、議論する道徳」への方向性を模索し、教師と生徒の心がより通い合う学校づくりを追求する必要がある。

教職員の個性を生かす道徳教育

－全職員でとりくむ道徳授業の充実をめざして－

1 主題設定の理由

生徒をとりまく社会は日に日に変化を遂げている。かつては、中学生が携帯電話を持つことと自体珍しかったが、今や小学生からスマホ等を所持し、その影響は生活や遊び、そして人間関係等に大きな影響を与えつつある。また、将来は既存の職業が姿を変え、人間を必要としない新たな形の仕事を選ばなければならない時代を迎える様相である。こうした中、義務教育においては、社会の変化に自ら対応できる人間性や社会性を育てることが求められている。

一方、いじめ問題が深刻な事態にある昨今、本質的な問題解決の方策として、2017年3月に学習指導要領が一部改正された。現在は、2018年に小学校が、2019年には中学校が道徳の教科化へと向かっている。学校における道徳教育は、人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念とともに、生きていく上で欠かせない事柄を考え、社会や家庭の場などで具体的に生かせる生徒の育成がねらいである。社会に対応する生きる力を養う上で、道徳教育の果たす役割は大きいものと認識する。

千葉県では2010年12月に道徳教育推進のための基本的な方針を策定し『『いのち』のつながりと輝き～大切なあなた、大切なみんな、大切な自然と地球、そして大切なわたし～』を道徳教育の主題として掲げ、県教育委員会からは「夢に架ける橋」「いつのまに…」が配布され、映像資料の活用に力点が置かれている。

本校の研究主題は『『確かな学力』の向上を図る指導方法の工夫～言語活動を重視した授業のあり方』であり、「生徒の心を豊かに培う授業はどうあるべきか～生徒が生き生きと授業に参加し、個々の考えが深まる授業展開の工夫～」を道徳の研究主題とした。研究の重点は①生徒の実態をふまえた適切な資料の活用と指導方法の実践②全職員が道徳授業への関心を高め、積極的に道徳と関わろうとする職場の雰囲気作り③他教科や特別活動、学校行事との関連を意識した計画的・継続的授業の実践である。

以上、社会的状況および千葉県の動向そして本校の研究の実態から、新しい時代に必要となる資質・能力を育成するためには、全ての教育活動の要となる道徳教育の推進が重要である。なかんずく、週に1度の道徳授業の充実が豊かな心の種となり、時を経て花を咲かせ、そうして実りを結ぶに違いない。殊に、授業者が個々の特性を生かしながら道徳授業を意欲的、継続的に実践することができれば、教師も生徒もともにより豊かに、そして、より楽しい充実した学校生活を送ることができ、将来の基盤となる力を養うことにつながると考え、本主題を設定した。

2 研究目標

教職員一人ひとりが道徳教育の重要性を自覚し、自身の特性を生かしながら意欲的、継続的に授業を実践することで、教師と生徒がともに成長を図り、温かい心が通う学校生活を送ることに繋がることを明らかにする。

3 研究の実際

(1) 研究仮説

教職員の特性を生かした道徳授業の展開を継続的に実践すれば、生徒一人ひとりの心が豊かに育ち、温かい心が通い合う生き生きとした学校生活が送れるであろう。

(2) 研究内容

- ①道徳授業を推進する校内道徳部会の役目
- ②行事等を生かす授業展開の工夫

(3) 研究の具体的内容

- ①道徳授業を推進する校内道徳部会の役目
ア 道徳部員が学年の道徳授業の推進力となる。

(1) 道徳部員の決定

各学年の職員を学活と道徳の部員に分ける。

(2) 昨年度の道徳研究主題

「生徒の心を豊かに培う授業はどうあるべきか」

～生徒が生き生きと授業に参加し、個々の考えが深まる授業展開の工夫～

(3) 昨年度の実践

授業研究を中心とした校内研修（全員が考える展開及び授業内容検討会）

学年道徳の実践及び交換道徳による授業実践による資質の向上

(3) 成果と課題（平成28年度研究のまとめ参照ください。）

(4) 今年度の方向性を協議

- ①今年度の研究主題について
- ②道徳研修の基本方針を見直す

ふだんの授業に活用できそうな指導案（展開部分のみの略案）を夏季休業中に職員一人ひとりが作成し、学年部会の中で授業検討を行う。また、各学年ごとにその資料を使って授業を展開する。次年度の資料に役立つよう簡単な反省会を行い、本校の共有の道徳資料財産とする。

ただし、職員の負担とならないよう展開略案についてはこれまで個人的に実践したものを提示しても可。夏休み中に作成すると個人研修及び労力の軽減にもつながる。さらに、多忙が予想される2学期に、各担任が授業展開時に活用できることが望ましい。管理職の方を含め、全員で取り組む道徳授業展開を目指す。

③千葉県で作成した映像資料の活用

「夢にかける橋」（3年生で展開予定）「いつのまに…」（2年生で展開予定）

④その他

◎各学年で取り組んだ資料は、実践後ファイルに随時保存していく。

◎長期休業やゴールデンウィーク前には「いのち」に関わる授業を展開する。

（平成29年度第1回道徳部会資料より）

イ 学年内に展開例（略案）を提示

内容項目D-（19） 生命の尊さ		
資料名 「バニラと私」 出典 「新しい道1」（千葉県中学校長会編）		
☆ねらい		
世の中で最も尊重されるべきものは生命。人間の命はもちろん、中学生の時期に、動植物にも広く目を向け、自分の生命についても感謝の気持ちをもつ姿勢を養う。		
段 階	主 な 発 問	支援の手だて・留意点
導 入	1. 資料に対する方向づけ ・ペットを飼ったことはあるか。 ペットとはどんな存在か。	・資料への関心を高める。
展 開	2. 資料「バニラと私」を通して考える。 ・範読する。 ・バニラを飼い始めたとき、友美はどんな気持ちだったか。 ○発表会のドレスがバニラによって汚れてしまった時、友美はどんな気持ちになったのだろうか。 ・病院で横たわるバニラを見て、友美はどんな気持ちになったか。 3. 価値の主體的自覚 ・「バニラ」は友美にとってどんな存在だったのだろうか。	・「バニラ」とは何かを考えながら資料に聞き入るよう助言する。 ・バニラが家族の一員と思える気持ちに共感させる。 ○友美の憤りに共感し、自分中心の考えが心を支配することに気づかせる。 ・改めて、バニラ存在の大きさに気づき、より高い価値に目覚めさせたい。 ・友美に成り代わり、友美の気持ちを表現させながら、価値の自覚を図りたい。
終 末	4. まとめ バニラへの手紙を書く。	・友美の思いを素直に表現した手紙文を紹介し、余韻を残す。

「バナラと私」(出典「新しい道」1年生)

授業展開の様子

※2017. 7. 14 1校時実施



「私のバナラへ」生徒の手紙文



私は、バナラとはとてもひどい事をしていました。
本当にごめんなさい。もうとにかえいほつか
ないけれど反省しています。でも、バナラが居てくれたから、毎日
頑張ろうと思えます。なのに、バナラの様子がいまいち
なつかず、私のドレスがよごれてしまふ時、大丈夫だと思ふ、
「よごして最低な事をするの?」と怒り、バナラとは、とても最低な
事をしてしまいました。バナラがいやがっていた事ばかりです。
物を投げたり無視をしたりしていました。
私は、バナラが亡くなって初めて気づきました。もっと優しく接してあげ
れば良かった。最後の命まで、大事にしてあげれば良かったと...
でも私はバナラが大丈夫です。バナラは私にと、大事な大
切な、一生の宝物です。最後の最後まで、私の
大切な宝物でいてくれてありがとう。

バナラのころから、今までありがとう。
バナラのころ、お父さんと、知ってもいいよ
知れたときは、本当にうれしかったよ。
バナラは、私がかたがたしている時や、おちこ
んでいる時、泣いていた時は、すぐにかけま
すくれ、私をほげましてくれて、
毎日、バナラと、笑ったり、遊んだり、話せ
ないけれど、バツバツと通じあたり、私に、
いなくなってはいけないように、
今日は、ドレスのことで、おんきに、おん
に、おんにと、後かいています。バナラは
天国で頑張っていて、私も
バナラがいなくても頑張って生きて
いくね。

道徳に関する校内研修を年に2度実施している。研究主任が実施時期を設定し、道徳教育推進委員が内容を考え、全職員参加型の研修である。平成22年度から3年間は資料を各自持ちより、学年内で資料の検討と情報交換を行った。行事で多忙化する2学期に、その資料を活用し授業を展開した。平成25年度からは、道徳教育推進教師が中心となり模擬授業を展開している。また、昨年度から平成31年度の道徳教科化に向けて内容項目の変更点を学び合ったり、現時点で準備すべきこともなども校内研修の中で確認している。

本校は生徒数が減少し、大規模から中規模校となったことで、学年内の交換(ローテーション)道徳の授業が展開しやすい環境となった。各担任と協力しながら学年全体で授業を実践することについても、教職員の協力が得やすい状況にある。各学年に1名ずつ道徳部会の中心者がおり、毎週資料を提示している。また、学年職員を希望性で2分割し、一方は道徳部員、もう一方を学活部員と決め、その年にどちらの研究に重きを置くかという意識を高めている。

ウ H25年度校内研修 模擬授業略案

内容項目Dー(19) 生命の尊重・命のつながり

資料名 「月になったナミばあちゃん」

出典 「いのちつぐ 『みとりびと』」 写真・文 國森 康弘 農文協

☆ねらい

「旅立ち」のときを迎えた心情と、見送る周囲の人々の思いに共感しながら、いのちのつながりについて気づくようにし、生命尊重の心を育てる。

展 開

段 階	主 な 発 問	支援の手だて・留意点
導 入	<p>1. 資料に対する方向づけ</p> <ul style="list-style-type: none"> 今日は「命」について、みなさんと考えていきましょう。 さて、自分にとって「大切な人」を思い浮かべてみましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> 資料への意識づけをする。 大切な命への授業なので、真剣に厳かに授業に取り組む環境を整える。
展 開	<p>2. 資料「月になったナミばあちゃん」を通して考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> 範読する。 <p>3. 価値の主體的自覚</p> <ul style="list-style-type: none"> なみばあちゃんの家におじゃましてみて感じたこと・印象に残ったことは何ですか。 <p>○ナミばあちゃんの「ありがとう」の中身を考えましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「ある家族に密着しよう」と声をかけることで、資料の内容に共感しやすい立場を確立する。 素直に感じたことをそれぞれの言葉で表現するよう促す。 多様な意見に触れるよう、なるべく多くの生徒を指名し、「大切なもの」に気づくきっかけとする。 P27→P29へと移行し、より大きな「ありがとう」の意味を掴ませたい。
終 末	<p>4. まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> 今日の授業から「大切な何か」が見えましたか？今日からどんな毎日を送ろうと思うか。ワークシートに書きましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> 「大切な人」との別れが必ず来ることを知らせ、今日からの生き方に生かせるように語る。

エ 人権出前道德の活用

人権教室（道德出前講座）の流れ

※レジュメ抜粋

1. ねらい

道德教育を一環として、人間として大切である「思いやりの心」、「みんなと仲よくすること」、「命を大切にすること」等々を考え、身につける場として出前講座を活用する。

2. 担当者

学校教育に多年の経験をもち、道德教育の第一線を走り抜かれた先生方がご指導くださいます。

3. 教材

映像資料「いじめと戦おう！」

4. 期 日

平成29年7月6日（木） 5・6校時（2時間展開） 於 体育館

5. 展開の主な流れ

13:20 講師紹介

13:25 「いじめ」について語り合う

14:10 トイレ休憩

14:20 資料上映「いじめと戦おう！」→感想を書き込む→発表する

6. 事前準備

当日までに朝読を使って小冊子「みんなともだち」を熟読しておく。

～「いじめと戦おう！」を学んで～ 1学年便り8月号（生徒の感想より）

・いじめをなくすには、まず、周りの人を変えることが大事だと思いました。周りが加害者の相手をしなければ、加害者も面白くなってやめるということがわかりました。また、自分のイメージを変えることも大事だと思いました。しっかり働き、自分のイメージをよくすると、周りの人達が味方してくれることがわかりました。僕は主人公のように、友達を助けられるように頑張ります。

・今日の学習を通して、改めていじめはいけないと思いました。なぜなら、傍観者として注意しなければ、いじめはエスカレートしていくからです。楽しんで、遊び心で行っている「いじり」がいつの間にか手におえない程の「いじめ」につながるのかもしれない。自分の行動をふり返り、いじめにならないよう自分自身で注意しなければと思いました。

・A君はとてもかわいそうでした。B君はA君の気持ちも考えずに行動しました。B君は、自分が同じようにやられた時の立場になって行動すべきだったと思います。一方、C君はとてもいい人です。C君がいたからこそA君は変わったのだと思います。私は人権教室で学んだように、今後、被害者に「どうしたの？」という声をかけていきたいと思います。

・僕は今まで「人権」というのがどのようなものか分かりませんでした。しかし、今日の授業で、「人が大切に生きる権利」ということが分かり、いじめやからかいをしてはいけないということを改めて感じることができました。僕たちは「いじめのない学年をめざします！」

人権出前道徳 学年授業の様子



オ 交換（ローテーション）道徳

H26年度1学年ローテーション道徳授業計画

担当者	価値項目	資料名
吉田	3 - (1) 生命の尊重	月になったナミばあちゃん
北田	1 - (2) 希望、勇気	ドラえもん最終回
石橋	2 - (3) 友情	音楽室で
多葉田	4 - (2) 公德心	イエローカード
水須	2 - (2) 人間愛	ディズニーランドキャストの話
栗林	2 - (5) 他に学ぶ広い心	絵本 「世界でいちばん貧しい大統領のスピーチ」
時友	1 - (2) 希望、勇気	落ちないリンゴ

	1組	2組	3組	4組	5組
9/29 (木)	吉田	北田	石橋	多葉田	水須
10/6 (木)	栗林	時友	吉田	北田	石橋
10/14 (金)	多葉田	水須	栗林	時友	吉田
10/21 (金)	北田	石橋	多葉田	水須	栗林
10/27 (金)	時友	吉田	北田	石橋	多葉田
11/4 (金)	水須	栗林	時友	吉田	北田

「16年越しの手書き」DVD視聴

【事前の質問】（あてはまるものを○で囲み，正直に本音を書いてください。）

①あなたは今，反抗期ですか？ は　い・いいえ・どちらともいえない

②あなたは今，親と上手にいらっていますか？ は　い・いいえ・どちらともいえない

③①・②の理由を具体的に書いてください。

【感想】（あなたはこのDVDで何を感じましたか？**親の気持ち・愛情**をどう思いましたか？）

【まとめ】（受験生真っ只中…明日からどう生きていきますか？**自分の気持ち**を書いてください。）

「坂道」の向こうには何がある？

北田先生のDVD「続拝啓15の君へ」を見て『手紙』について思うこと♪

- ♪私も実は今、いろいろ悩みがあります。勿論、来年の春は何処で何をしているのだろうと思います。
- ♪自分にも誰に言えない心の中だけの叫びが潜んでいるけれど、代弁してもらっている気がしました。
- ♪「人生の全てに意味がある」…その言葉を胸に辛くなった時、この言葉を思い出し乗り越えたい。
- ♪辛かったり、苦しかったりするの自分だけではなくて、みんな同じなんだと思いました。
- ♪「手紙」を自分にあてて書いて何年後かにその手紙を見ると自分はずっと強くなれると思います。
- ♪この歌詞を思い出すと凄く前向きになれると思いました。自分に自信が持てるようになりました。
- ♪本当に「手紙」は歌詞の意味が深く、今の自分にピッタリです。考えるほど涙が出てきます。
- ♪15歳とは一番悩みが多い時期だと思います。最後の文化祭で皆それぞれの思いがあると思います。
- ♪「手紙」というたった1曲の歌だけ…どみんなの気持ちを1つにできるものなんだと思いました。
- ♪たった2人でコンクールで歌う勇氣、気持ち、素直に凄い…人数より気持ちが大切だと思いました。
- ♪歌詞の意味を理解しているから大会が終わった後と前で気持ちの変化があらわれたと感じました。
- ♪先日の練習で1組でよかった、手紙が歌えてよかったと改めて思い、涙が止まらなくなりました。
- ♪今回「手紙」を選んで良かったです。1組で歌うのはこれで最後かと思うと、涙が止まりません。
- ♪他の人も頑張っているから自分ももっと頑張らないと。苦しいのは自分だけじゃない。みんな同じ。
- ♪みんなと歌えることに幸せを感じて、みんなと頑張ったこと思いを忘れずに強くなります！（阿部）
- ♪「手紙」にはいろいろな思いが込められていて、学生なり悩みが歌われていてとても共感できました。
- ♪「手紙」はとても苦しい時に強くなるきっかけになった人たちがたくさんいたことがわかりました。
- ♪「手紙」のDVDを見て気持ちを込めて歌うというのがどういうことなのかがわかった気がします。
- ♪今は辛いかもしれないけれど、（歌詞のように自分を）信じて頑張っていくしかないと思いました。
- ♪「自分とは何で何処に向かうべきか、問い続ければ見えてくる」という歌詞に感動しました。
- ♪「手紙」には込められた思いがあり、大きな力がある。自分にもあてはまるものだと思います。
- ♪今の時期は色々なことで悩むことになるだろうと思いますが、強い意志をもって今を生きていこう。
- ♪色々な悩みを抱えた人たちが、この曲を聞いて困難を乗り越えている…その力がある歌だと思います。
- ♪僕たちは悩みを抱えていて当然です。今の自分の気持ちを誰かに伝えるように歌いたいです。
- ♪心配事や不安があって大変だと思う時がいくつもあります。それは自分だけではないとわかりました。
- ♪「手紙」は自分の中の思いだと思いました。いつでも自信を持って行動できるんだと思いました。
- ♪みんな一人一人に悩みがあって、「手紙」を歌って感動できるって凄くいいなと思いました。
- ♪「手紙」は自分の底にある強さを引きだしてくれる素晴らしい歌だと改めて思いました。
- ♪伝えたいものがなければ伝わらないので、自分のなやみや友だちへのエールを込めて歌いたいです。
- ♪まだまだ僕にはやる事ができる、そう思ってやりきればまだまだできる。ただ歌うだけです。
- ♪もっと自分も頑張らないと思いました。歌詞の意味を1つ1つ考えながら歌いたいです。
- ♪僕たち3年生で最後の「文化祭」を悔いのないように歌いたいです。
- ♪悩みがあったら自分の声を信じて歩いていくことが大切だと思いました。
- ♪「手紙」はもの凄く奥が深い歌だと知りました。もの凄く感動しました。
- ♪自分で書いた未来への「手紙」は生きるヒントになると思いました。
- ♪「手紙」は凄く感動的でした。凄い歌だなというのが伝わってきました。



4 研究のまとめ（成果と課題）

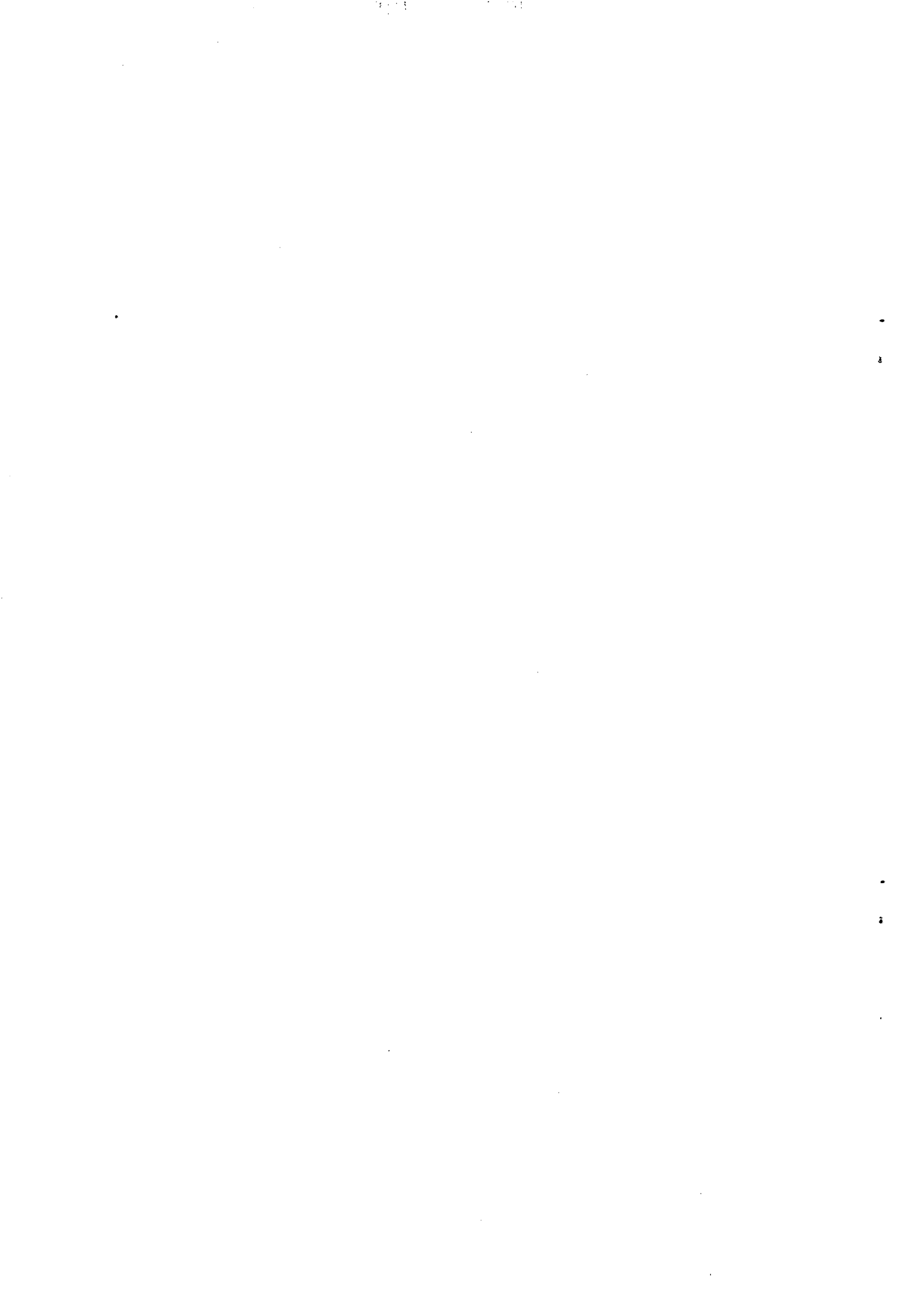
（1）成果

- ①道徳教育推進教師と道徳主任が密に連絡を取り合い、協力して仕事を分担することで毎時の道徳授業の充実につながっている。更に、各学年の中心となる道徳担当者が学年内の道徳資料を明確に提示することで、道徳の授業を大切に実践しようとする教師の意識を高めている。
- ②研究主任協力のもと、校内研修に道徳の研究を位置づけ、継続して全職員が道徳を学ぶ機会を設けることで、道徳の授業の質を高め生徒の心を豊かに育む実践ができた。
- ③学年内の交換（ローテーション）道徳は、教職員一人ひとりのもつ特性が存分に発揮できる場となり、生徒が生き生きと授業にとりくむ手立てとなった。授業者も同資料を繰り返し実践することで展開に自信が生まれ、意欲を喚起することができた。若手教師の育成にもつながった。
- ④行事と関連の深い資料を用いて道徳授業を行うことで、生徒が真剣に考え生活に生かそうとする気持ちが高まった。道徳授業での深まりは、行事に意欲的に参加しようとする姿勢に結びつき、楽しい学校生活を送る一助となった。

（1）課題

- ①道徳教育推進教師として全校の道徳を推進すべきだが、該当学年の推進に力点が偏った傾向がある。他学年の実態を細やかに掌握するために、定期的な道徳部会の実施に努めなければならない。
- ②模擬授業を展開し、その場では深まりが見受けられる校内研修だが、授業実践に生かすことを全ての担任が行っているとは言えない。今後は、展開の実際をふり返る場を明確に設定していきたい。
- ③教科化へ向けて、道徳授業に対する重い気持ちが職員の中に生まれつつある。そこで、教師側が前向きに道徳をとられられるよう、推進教師として情報収集・情報提供に力を入れ「考え、議論する道徳」づくりを努力する必要がある。それこそが、教師と生徒がともに豊かな心を育み、心が通い合う楽しい学校づくりに結びつくと考える。

資料編



学年日課内新入生第1回道徳授業略案

H29.4.14(金)

3, 4校時 各クラス

内容項目 1- (2) より高い目標を目指す・・・希望, 勇気

資料名 「この人に学ぶ ～松井 秀樹」 出典 「私たちの道徳」 (文部科学省)

☆ねらい

松井秀喜さんのメッセージを通して, より高い目標を掲げ中学校時代を生き生きと希望をもって過ごす態度を育成する。

※入学当初のやる気を喚起し, 道徳授業の中で充実した日々を送れるきっかけづくりを目指す。

展 開

段 階	主 な 発 問	支 援 の 手 だ て ・ 留 意 点
導 入	1. 資料に対する方向づけ ・「私は何タイプ」かを考えてみよう。 ①こつこつと努力し, 一歩ずつ階段を上がってゴールを目指すタイプ。 ②追い込まれて力を発揮し, ゴールにたどり着くタイプ。 ③何も考えずに, なりゆきでゴールに到着するタイプ。 ④その他	・資料への意識づけをする。 ・分析しにくい生徒には, 夏休みの宿題の取り込みを例に取り上げながら, 自分のタイプを選ばせるよういする。
展 開	2. 資料「この人に学ぶ松井秀喜のメッセージ」を通して考える。 ・この手は誰の手でしょう? ・(松井選手の写真を提示しながら) 彼はなぜこのような手をしているのかを考え発表しよう。 ・範読する。「私たちの道徳」P20 3. 価値の主體的自覚 ・「私は何タイプ」になりたいか? なぜ, そのタイプが望ましいかを書こう。	・高校時代の松井選手の手を資料として提示する。 ・自由に発表できる雰囲気をつくる。 ※道徳授業では, その時々感じたことや考えたことを大切にしよう補足する。 ・心に残った言葉や文に線を引きながら聞くよう指示する。 ・B6ワークシートに書き込み, B6ポケットにやがて掲示する。
終 末	4. まとめ ・P21「この人のひと言」を紹介する。	・目標に向かって希望溢れる日々を送れるよう余韻を残す。

「私が目指すタイプ」

組 番氏名()

あなたはどんなタイプを目指しますか？

- () こつこつ努力タイプ
- (○) 追い込まれて頑張るタイプ
- () なりゆきタイプ
- ()

タイプ

そのわけは、

階段を一步ずつ上がっていくことで松井秀喜さんのように世界でつかみ取る人になれるけれど、自分は今まで追い込まれてがんばるタイプで成功していることもあるので、今までどおり追

込まれてがんばるタイプを目指したいです。
 少しずつ自分で見つけたいです。

2

「私が目指すタイプ」

組 番氏名()

あなたはどんなタイプを目指しますか？

- () こつこつ努力タイプ
- () 追い込まれて頑張るタイプ
- () なりゆきタイプ
- (○) 失敗から学ぶ

タイプ

そのわけは、失敗をする事で「反省」「後悔」などが生

まれ、それから、より多くの新しい考えが生まれるから
 です。成功ばかりしてても、そこから何も生まれない。成
 功の後に成功を収めれば、達成感を持つるように
 なります。

おぼろいタイプです。

「私が目指すタイプ」

組 番氏名()

あなたはどんなタイプを目指しますか？

- (○) こつこつ努力タイプ
- () 追い込まれて頑張るタイプ
- () なりゆきタイプ
- ()

タイプ

そのわけは、私は今まで追...込まれて頑張るタイプを目指

して、今日の授業で「強さの本質」について学び
 ました。こつこつ日に日に強さあることで松井さんのような
 士気な選手になると思うので、今日から「今日の目標
 を自分なりに定めてこつこつ努力し、最後には最大の勝

つを収めるようにしたいです。頑張ります。

「私が目指すタイプ」

組 番氏名()

あなたはどんなタイプを目指しますか？

- () こつこつ努力タイプ
- () 追い込まれて頑張るタイプ
- () なりゆきタイプ
- (○) 努力をされるとおられると思えるタイプ

そのわけは、

努力をされると、「できないことができた」、やっていたこ
 とが「やれるようになるから」です。
 努力してもおられないことがあっても、おまらぬだけ
 は「いつかおくれる」と思うからです。

努力をされるとおられるタイプです。

「いつのまに・・・」

年 組 番 ()

マリコのつぶやき

「すごいことになって、なんでこんなことになっちゃったのか」

☆問題だと思ふ人、問題行動

・ミキの問題点

○自分よりも下手な人のプレーにイライラしては、強くあつてしまった。

自分も教文 ぶつてきたこと。

・ユリの問題点

○はまり友達といえなかつたから。

・マリコの問題点

○ミキに対するしつこい悪口やかけこみになること。

・その他の問題点

○深く聞かないで口を親。

○聞かないこと。

ミキとユリの今後

○まず私が一番問題かと思ふミキが最初にあやまってユリは謝っておいて。2人でマリコたちの所へ行って「しつこいあやまり、仲直りしてほしい。」
○ぶつとバスケをつがけてほしい。

～授業を通して思ったこと・感じたこと・考えたこと～

○友達の意見から出ていけば、一人の言動・行動力がどんなにかたい絆もひびきいていこうと思つた。
○でも、ユリは最後までミキを心配していたから、それだけ二人は絆がむすばれたと思つた。

「いつのまに・・・」

年 組 番 ()

マリコのつぶやき

「すごいことになって、なんでこんなことになっちゃったのか」

☆問題だと思ふ人、問題行動

・ミキの問題点

○2、3年生と一緒に練習しているから、練習の時にミスをするたびに教文と、ていつとこ、おんな先生も怒っている。

・ユリの問題点

○マリコと一緒にならなかつたこと。

○泣きながら練習。

・マリコの問題点

○この練習のしつこいこと。

○練習のしつこいこと。

・その他の問題点

○先生も聞いた時点でその程度に注意しなさい。

ミキとユリの今後

保健室で、ミキとユリは仲直りして、また、親友の関係をとり戻していく。汁はみんなとそうじや片付けをやるようになり、みんなに優しくバスケを教えるようになる。ユリはミキと同じくらい上手になり、レギュラーに入った。

～授業を通して思ったこと・感じたこと・考えたこと～

「友達」という物の大切さが改めて感じる ことができた。いじめは、①やからせ ②たがひ ③かわるの3つの小さな④で始まってしまうので、小さな⑤はゆるないようにはじめようと思つた。

ドラえものの最終回

のび太とドラえもんがお別れの時がきました。それは、なんとなく来たのでした。

のび太はいつものように、宿題をせずに学校で叱られたり、ジャイアンにいじめられたり、時にはスネ夫の自慢話を聞かされたり、未来のお嫁さんであるはずのしずかちゃんが出来杉くんと二人きりで遊んでしまう、などなど、いつもの1日を送っていました。いつものように、雲が青い空に浮かんでいる、天気の良い日でした。そんないつもの1日…ドラえもんが急に動かなくなってしまったのです…。

「ドラえもん、ドラえもん、どうしたの？ドラえもん！」

のび太にはドラえもんが動かなくなった理由が分かりません。喋ったり、叩いたり、蹴ったり、しっぽを引っ張ってみました。なんの反応も示さないドラえもんを見て、のび太はだんだん不安になってしまいます。付き合いも長く、そして友情で結ばれているドラえもんとのび太。のび太にはどうしてドラえもんが動かなくなったのか、次第に分かってきました。

「ドラえもんは死んじゃったんだ、動かなくなっちゃったんだ…」

その夜、のび太は一晩中なきました。

ちょこんと柱を背にして座っている、動かなくなったドラえもん…。のび太はなかなか眠ることができません。泣き疲れて、ただぼんやりしています。無駄だと分かりつつ、それでもいろんなことをしました。できることのすべてをやりました。そのとき、なんで今まで気付かなかったのか、のび太の机の引き出し、そう、タイムマシンの存在に気がつくのです。のび太はパジャマのまま、ドラえもんの生まれた22世紀へ、タイムマシンに乗って、ドラみちゃんに会いに出かけました。

のび太は、なんとかドラみちゃんに会うことができました。そのとき、のび太は、「やったー、ドラえもんが生き返るぞー！！」と思いました。のび太はドラみちゃんと一緒に、自分の家に戻りました。のび太とドラみちゃんは、家に戻ってきました。ドラみちゃんは、動かないドラえもんを見て、すぐにお兄ちゃんの故障の原因がわかりました。正確には、故障ではなく電池切れだったのです。電池を交換する、それだけでドラえもんは直るのです。しかし…ドラみちゃんは大事なことに気がつきました。交換する電池がないのです…。「ドラみちゃん！！はやく治してよー」せがむのび太にドラみちゃんは、静かにのび太に言いました。

『のび太さん、お兄ちゃんとの今までの思い出が消えちゃってもいい？』

のび太ははじめ、理解できませんでした。聞いてみると、なんと、旧式ネコ型ロボットの耳には電池を交換する時の電池がついているのですが、それがなくなっていたのです。

のび太もやっと理解しました。のび太は悲しさのあまり、ひざを突いて泣き崩れました。そして、ドラえもんとこのこれまでの思い出を振り返ってみました。初めてドラえもんに出会った日のこと、数々の道具を使ったこと、過去へ行ったこと、未来に行ったこと、恐竜を育てたこと、海底で遊んだこと、宇宙で戦争したこと、鏡の世界に行ったことなど…たくさん思い出しました。

ドラみちゃんは、のび太に説明をしました。電池を交換すれば、ドラえもん自身は生き返るが、のび太とのこれまでの思い出が消えてしまうこと、ドラえもんを作った人は秘密なので、修理してもらうことは不可能であるということ。

のび太は、決断をしました。

「ドラえもんはこのままにする」と一言、ドラみちゃんにいったのです。ドラみちゃんのはのび太の顔を

見ました。涙を流しながらも、歯を食いしばって我慢しようとするのび太の姿に、ドラみちゃんも涙を流しました。のび太は、さよならも言わずにタイムマシンに乗り、去っていきました。これは、のび太が小学校6年生の秋のことでした。

それから、数年後...

しずかちゃんは、のび太とひさしぶりに会うことになりました。近くのファミリーレストランで食事しました。久しぶりに会ったのび太は大変身していました。大きい存在感、魅力ある顔立ち、そしてとても力強い言葉、そしてどこか寂しそうにしている目、眼鏡をさわるかっこいいしぐさ、しずかちゃんは久しぶりにあったのですが、のび太を大好きになりました。外国の学校に通っていたのび太は、超一流の大会社に勤めることになりました。そしてまた、大好きだったしずかちゃんと結婚しました。そして、とても暖かな家庭を築いていきました。

ドラえもんが動かなくなってから、のび太はドラえもんは未来に帰ってしまったとジャイアンやすねおに言っていました。そして次第に、誰も「ドラえもん」のことは口にしなくなっていました。しかし、のび太の家の押入には「ドラえもん」が動かなくなったまま、置いてあったのです。

小学生の頃、成績がびりだったのび太ですが、自分なりに必死に勉強しました。そして中学、高校、大学と進みました。大学のときには、1番の成績を取りました。そうです、「ドラえもんを治したい」という一心からでした。

人間とはある時、突然変わるものです。のび太が変わったきっかけは「ドラえもんの電池切れ」だったのです。

のび太は今、機械を作る天才科学者として、今、「ドラえもん」の前に立ちました。どのくらい時間が経ったのでしょうか。しずかちゃんが研究室に呼ばれました。のび太が、しずかちゃんでも絶対に入ること禁じていた研究室でした。中に入ると夫であるのび太は微笑んでいました。そして机の上にあるものを見て、しずかちゃんは言いました。

『ドラちゃん...?』

のび太は言いました。

『しずか、こっちに来てごらん、今、ドラえもんのスイッチを入れるから』

しずかちゃんは、声を出さずに泣き出しました。泣きながら、しずかちゃんはだまって、のび太の顔を見えています。ドラえもんを生き返らせるため、まさにこのためにのび太は機械を作る天才科学者になったのです。

のび太は、静かに、静かに、そして丁寧に、何かを確認するようにスイッチを入れました。

『のび太くん、宿題は済んだのかい?』

なんと、ドラえもんが動いたのです! のび太としずかちゃんは、ドラえもんと泣きながら抱き合いました。ずっとずっとのび太がのぞんでいたことでした。

そう、ドラえもんを作ったのは、のび太だったのです。ドラえもんは、のび太にこういたかったのかもしれない。

「ドラえものの最終回」

1年 組 番 氏名 _____

1. 「ドラえもん」と「のび太くん」の絵を描いてみよう。



ドラえもんが
願いを叶えてくれるとしたら・・・

2. あなたの知っている「のび太くん」について書いてみよう。

3. このお話を聞いて・・・感想を書きましょう。

4. ドラえもんはのび太くんにこのように言いたかったのかもしれませんが・・・

「 のび太くん,

何でもできるんだよ。」

5. 今日の授業の感想を書きましょう。

内容項目 1 - (2) 強い意志

☆ねらい やる気を出して努力すれば、目標は達成する

- ・期末テスト勉強期間です。計画表も勉強方法もまだ??の1年生ですが、「やる気」につながるというと思います。
ダメダメのび太くんですが、ドラえもんを直すことが目標となり、頑張るきっかけになりました。
中学校は日常生活に、「やる気」になるきっかけがたくさんあるよとも伝えたいかなと思います。

※タイトルを見た時点で、「知ってる～」と騒ぎ出す人もいるかもしれませんが、それは、口にしないということで最初に触れたほうがいいかもしれません。

段階	主な発問	生徒の様子・支援の手立て・留意点
導入	<p>1, 「ドラえもん」と板書する。 似顔絵を描いてみよう 「のび太くん」と板書する。 似顔絵を描いてみよう 願いを叶えてくれるとしたら・・・ も書いてみよう</p> <p>※先生も書いてみてください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・巡回しながら様子を見る。 (歌いながら書くであろう・・・) ・巡回しながら様子を見る。 (のび太くんは意外と書けない) ・時間を区切った方がいいです。ずっと書いている人がでてきます。 ・かなり喜びます。
展開	<p>2, あなたの知っているのび太くんについて書いてみよう。時間は2分厳守 一つだけ発表させる。 板書する。</p> <p>3, 資料を読む (まず、最初に下記のことを伝える) のび太くんは、アニメ「ドラえもん」に出てくる登場人物です。 「藤子 F 不二雄」さんという方が描きました。もう亡くられています。 今から「ドラえもん最終回」を読みます。最終回はいくつかありますが、今から読むお話はそのなかの一つです。ドラえもんはどうなるのかな？のび太はどうなるのかな？</p> <p>4, このお話を聞いて・・・感想を書く。 挙手して発表させる。</p> <p>5, ドラえもんがのび太くんに言いたかったことをプリントに記入させ、発表させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・色々出てくるであろうと思います。 ・知っている人もいるであろうが黙って聞く。 ・じっくり読むと10分ほどかかります。 ・いろんな思いが出てくると思うので受け止める。
週末	<p>4, まとめ ・本時の感想をワークシートに記入する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子供たちが、「努力すれば願いは叶う」と思うような語りを心がける <p>この物語のひとつのキーワード 「天才とは、99%の努力と 1%のひらめきで決まる」 by エジソン</p>

目 標	→	願 い
き っ かけ	→	や る 気
努 力	→	不 安 ・ 期 待
目 標 達 成	→	自 信

一秒の言葉

小泉 吉宏

「はじめまして」

「この一秒ほどの短い言葉に 一生のときめきを感じる」ことがある

「ありがとう」

「この一秒ほどの短い言葉で 人のやさしさを知ることがある

「がんばって」

「この一秒ほどの短い言葉で 勇気がよみがえってくる」ことがある

「おめでとう」

「この一秒ほどの短い言葉で 幸せにあふれる」ことがある

「いめんなさい」

「この一秒ほどの短い言葉に 人の弱さをみることがある

「さようなら」

「この一秒ほどの短い言葉が 一生の別れになる」ことがある

「一秒に喜び 一秒になく 一生懸命一秒

セイロー・テンドロエ「一秒の言葉」より

道徳 「一秒の言葉」 (人間愛・思いやり)

① 「ありがとう」「さようなら」「はじめまして」

「ごめんなさい」「おめでとう」「かっこばって」

↳ それぞれ、どんな時に言う言葉なのか。

言われたら、どんな気持ちになるか

考えて、意見を交流させる。(～15分?)

② 詩「一秒の言葉」を紹介する。

(語群を用意する)

・穴うめをする(ワークシート → 黒板)

・全員で声を出して読む。(～20分?)

③ 本時とりあげた言葉の中で、どの言葉を^{特に}大切に
していきたいか、それはなぜか考える。

↳ 意見を交流させる。(～10分?)

④ 「一秒の」言葉の大切さや、心をこめて伝え合う
ことの大切さなど話してまとめ。

(3～5分)

このような感じで考えてみました。

お忙しいところありがとうございます。

ご意見等ございましたら、またよろしくお願いします。



平成29年度 思春期講演会 [いのちの教育]

《振り返りシート》 1年組 番 名前

- 1 思春期講演会で思ったこと、感じたことを教えてください。
私は家族たちに支えられて生きているという事をあらためて感じました。
- 2 講話を聞いて、わかったこと、気づいたこと、感想などを書いてください。
体だけではなく、気づかないうちに、心も成長している事がわかりました。
- 3 講師の先生（石毛助産師さん）や保健師さんに、聞きたいことがあったら書いてください。
(講演内容で疑問に思ったことや、助産師、保健師の仕事に興味関心があるなど...)
自力産師のお仕事で、一番感動したことやうれしかった事はなんですか？

平成29年度 思春期講演会 [いのちの教育]

《振り返りシート》 1年組 番 名前

- 1 思春期講演会で思ったこと、感じたことを教えてください。
命の尊さ、自分や相手の事は大切にしなければならぬということ。自分、周りの感謝。
- 2 講話を聞いて、わかったこと、気づいたこと、感想などを書いてください。
お互いの心まで考えて命をつなぐのは人間だけであるから、気持ちについてよく考える必要があると思った。
- 3 講師の先生（石毛助産師さん）や保健師さんに、聞きたいことがあったら書いてください。
(講演内容で疑問に思ったことや、助産師、保健師の仕事に興味関心があるなど...)
架空の人に恋愛感情をもつについて、どう思いますか。
(存在しない人)



思春期講演会

「いのちの教育」6/13(火)

《思春期講演会で思ったこと・感じたこと・気づいたこと》

- ・中学生のこの時期は、みんな心も体も大人になっていくのだと思いました。
- ・自分のことは自分で責任をとらないといけないと思いました。
- ・赤ちゃんを産むことは難しいことで、「生きる」ことには意味があるのだと知りました。
- ・個人差があるのは「普通のこと」であると感じました。
- ・周りの人に支えられて「今がある」ので、感謝しなければいけないと思いました。
- ・新しい命の誕生はとても大変なことだとわかりました。
- ・体に変化が起ることに恥ずかしいという気持ちがありました。成長することは大切なことだと気づきました。
- ・命の尊さと、自分も相手も大切にしなければならぬことを学びました。
- ・人のことを好きになることは、とても大切なことだと思いました。
- ・先輩の司会がとてもスムーズでわかりやすく、すばらしいと思いました。
- ・先輩方のお陰で、準備や片づけがスムーズでした。見習いたいと思いました。
- ・私は家族達に支えられて生きているということを、改めて感じました。
- ・それぞれ個人差があり、人それぞれ違うということがわかりました。
- ・「自分の命は自分で守る」ということに、改めて気づきました。
- ・人の体や心に対しては、正しい知識をもって向き合うことが大切だと思った。
- ・私たちがどのように誕生するのかがわかった。
- ・自分ごとだけでなく、相手の気持ちも理解、尊重することが大切だと思った。
- ・命をつなぐために、私は成長しているのは人間だけなので、気持ちについてよく考える必要がある。
- ・お互いの心まで考えて命をつなぐのは人間だけなので、気持ちについてよく考える必要がある。
- ・人の病気になることについて理解が深まった。
- ・思春期は誰もが通る道であり、個人差がある。今よりも自分の心身を大切にしたい。
- ・命の誕生の大切さに気づくことができず、今まで軽くみていた気がする。人だけでなく他の命や動植物にも優しい気持ちで感動したい。
- ・赤ちゃんの心音が聞けて感動した。